



2016年5月11日発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会
広報編集・
特別委員会

No.42

仙北市議会3月定例会

P 2~3

予算常任委員会

P 4

一般質問

P 5~12

総務文教常任委員会

P13

市民福祉常任委員会

P14

産業建設常任委員会

P15

特別委員会報告・

P16

控室・編集後記



— 3月定例会 —

第2回

定例会が2月23日～3月17日までの間開催され、平成28年度当初予算を含む63件の議案が審議されました。また、8名の議員が一般質問に立ち、市政課題について議論が行われました。

平成28年度 一般会計予算の概要

収入

農業所得の大半を占める米価の回復や軽自動車税の新税率適用などを踏まえ、市税収入は対前年度比8、372万円の増を見込む。また、同様に地方消費税交付金も1億6,000万円の増収見込。一方で、地方交付税は87億円と前年度比2億円の減収となるが、ふるさと納税による寄付金や、あきた未来づくり交付金を始めとした県支出金等の大幅な増額により、一般会計予算総額は190億円と過去5年で最大規模。

支出

職員数の減少に伴い人件費は前年度比約1億円の減少。また、認可保育園（だしのこ園・神代こども園）の法人化に伴い物件費は前年度と比較し約3億円減少したが、同法人設立に伴う「すこやか子育て保育料助成事業費」、「教育・保育施設給付費」の増額と、生活保護費等の増により、扶助費は約3億1,000万円のプラスとなっている。普通建設事業費はクニマス未来館建設や、クリオンプールの改修、堆肥処理施設整備をはじめとし、約20億4,000万円（前年度比+1億7,860万円）が盛り込まれた。また、公債費は元利償還金の減少により前年度比で約2億2,000万円のマイナスとなっている。

ストップ人口減少 子育て・定住支援に重点

88億1,299万円を可決

・企業会計予算198億1,299万円

平成28年度
特別会計
企業会計予算
(千円)

集中管理特会	4,122,700	同(神代診療所勘定)	102,700	雲沢財産区特会	3,400
下水道事業特会	753,200	後期高齢者医療特会	291,800	簡易水道事業特会	545,800
集落排水事業特会	460,600	介護保険特会	478,700	病院事業会計	8,129,228
国民健康保険特会(事業勘定)	4,036,100	生保内財産区特会	82,600	温泉事業会計	83,942
同(田沢湖診療所勘定)	29,500	田沢財産区特会	29,800	水道事業会計	635,508

平成28年 第2回 仙北市議会定例会賛否が分かれた議案 (招集日: 2/23 最終日: 3/17)

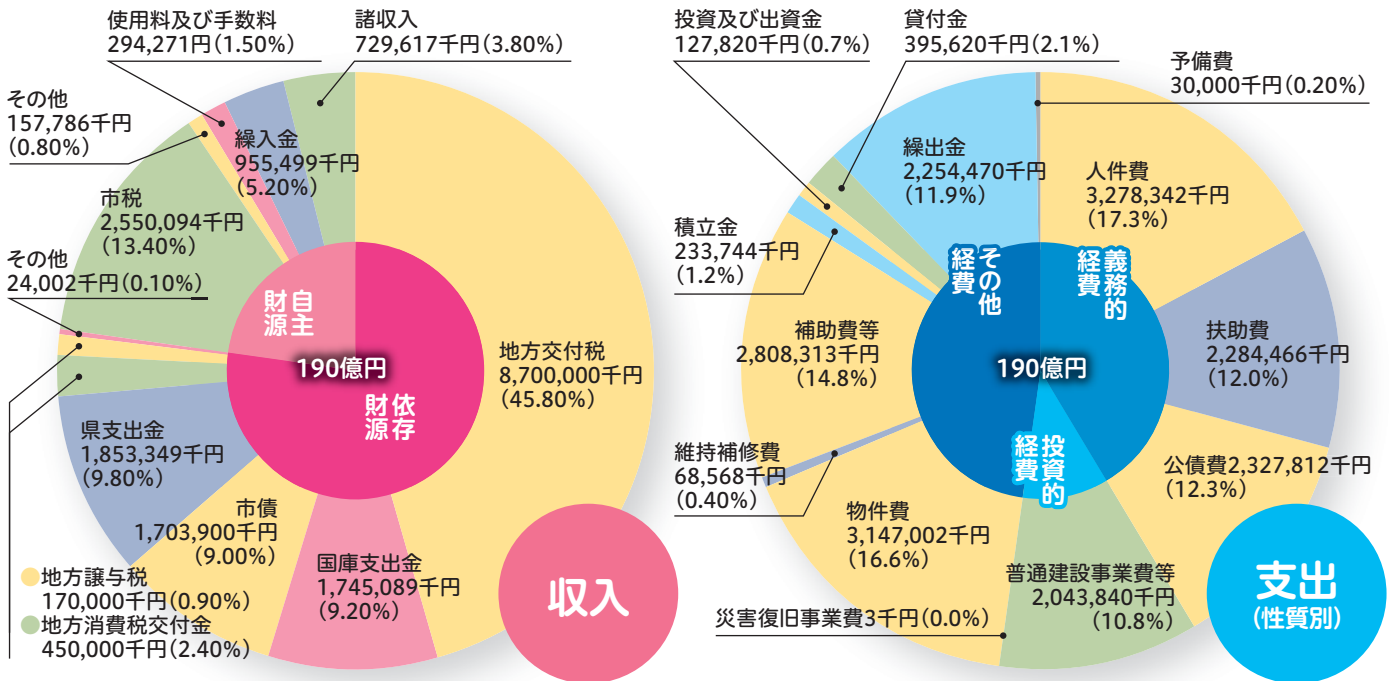
議案番号	会派及び氏名等 件名	議決 月日	議決 結果	仁政クラブ					翠鸞会			民政会議			市民 クラブ		会派に属しない 議員			
				黒沢龍己	田口寿宜	佐藤大成	高橋 豪	稲田 修	小林幸悦	真崎寿浩	荒木田俊一	大石温基	伊藤邦彦	安藤 武	門脇民夫	八柳良太郎	小田嶋忠	平岡裕子	熊谷一夫	阿部則比古
議案第25号	平成28年度仙北市一般会計予算	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第30号	平成28年度仙北市国民健康保険特別会計予算	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第40号	平成27年度仙北市一般会計補正予算(第7号)	3/17	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛
議案第61号	仙北市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	3/17	否決	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	反	賛
議員提出 議案第1号	仙北市職員倫理条例制定について	2/23	可決	全会一致					退	全会一致										
議員提出 議案第2号	意見書の提出について(軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書)	3/17	可決	全会一致																
平成27年 請願第8号	市内インフラ関連企業の活性化に関する請願書	3/17	可決	全会一致																

凡例：賛→賛成、反→反対、退→退席、欠→欠席（議長は、法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています）

平成28年度 一般会計予算の内訳

平 成28年度一般会計予算は、過去5年間で最高額となる190億円となりました。加速している人口減少を食い止めるため、新たに第2子からの保育料無料化や、若者向けの住宅建築補助、医療費助成の拡大（中学生通院まで）など、定住・子育て支

援政策に一層重点が置かれています。昨年で仙北市は合併10年を迎えました。地方人口ビジョン、総合戦略と共に、新たに第2次総合計画を策定し、次の10年、厳しい社会情勢のもとではありますが、更なる市政発展を目指します。



平成28年度予算総額3190億円 一般会計予算190億円 特別会計

市職員による贈収賄事件 市長・副市長の減給処分案 再度否決

調査特別委員会の報告を重く受け止めよ

昨 年12月議会において、「詳しい調査もしていないうちから処分することは時期尚早」として否決された、市職員による贈収賄事件に対する市長・副市長の減給処分案が、定例会最終日（3月17日）に再提案され、賛成1反対17で議会は再度これを否決しました。市議会では、昨年12月、地方自治法第98条に基づく検査権を発動し、「随意契約不正事務処理に関する調査特別委員会」を設置して、これまで徹底した調査を行ってまいりましたが、調査結果は、3月定例会初日の本会議に報告され、不適切な随意契約の実態や、実績価格を大幅に上回る単価での契約、管理体制の機能不全など、本来あってはならない内容が次々に明らかになっています。今回の処分案は議会特別委員会の報告を受けて

再度提案されたものでありますが、議員からは、「議会は独自に調査・報告をしたが、市では未だ細部にわたっての調査がなされていない」「市では、3月末までに調査を取りまとめ報告としていたが、未だ行われていない」、「特別委員会の報告は非常に重いにも関わらず、12月に否決された処分案と同じ内容である。調査特別委員会の報告をどう受け止めているのか疑問」などの反対意見が出されています。また、調査特別委員会では、事態の重さに鑑み、再発防止策の1つとして、本来市が自ら提案するべきである「職員倫理条例」についても提案し（16P参照）、全会一致で可決しており、今後も市に対し、事件の調査・報告と再発防止について訴えて行きます。



本会議

3月4日の本会議では、平成28年度一般会計予算を除く、条例案や特別・企業会計予算等について審議され、各議員から活発な質疑が行われました。ここでは、その一部について掲載致します。

平成28年度国民健康保険特別会計予算

質問 国保運営の見通しと、被保険者への影響は？

答弁 平成28年度について、前年度と比較し、被保険者減少のため、国保税収入は約6,000万円の減収となるが見込まれる。一方で、国保医療費については、高齢化により1人当たりの医療費が増加しており、保険給付費の総額は前年度と同規模である。平成30年度からの国保の広域化に向け、28年度は今後3カ年にわたる第2期計画を策定し国保運営の安定化に努める。被保険者への影響については、繰入金等の確保により減収分を補い、国保税率は据え置くこととし、被保険者の税負担を抑制する。

市内インフラ関連企業の活性化に関する請願書 全会一致で採択

市内のインフラ関連企業から提出されていた請願については、慎重に審議され、全会一致で可決されました。概要は次の通りです。

市の公共工事で発生するアスファルトなどの再生可能な資材等について、市外に流出している例もあり、土木業者の資材調達等にも支障をきたしているため、市内業者での処分・再生に配慮するよう求めるもの。

予算常任委員会

3月4日、14日、15日の3日間にわたって予算常任委員会が開催されました。本会議から付託になった、平成28年度一般会計予算と平成27年度一般会計補正予算について慎重に審査されました。委員からは主要な予算について、様々な角度から質疑が行われました。

クニマス未来館建設 時期尚早では

質問 県との協働プログラムにより「クニマス未来館」を建設するとしているが、山梨県からのクニマス借り受けも未確定で、養殖技術も確立されておらず、時期尚早ではないか？

答弁 クニマス未来館は、クニマスの里帰りのみならず、田沢湖再生の活動拠点施設としての役割もある。クニマスの卵、稚魚については、昨年来、山梨県、富士河口湖町等に対し要望もしており、確約が得られたものではないが、前向きな返事を頂いている。県と協働で取り組みたい。

待機児童の現状と支援はいかに

質問 新年度の保育所の申込みは既に始まっているが、待機児童の状況は？また、発生時のサポート体制は？

答弁 現在の見込みで、年度当初の待機者は5人（全てゼロ歳児）である。職員の配置等を調整し、年度スタート時点で待機者ゼロの状況を作りたい。発生時の支援体制として、10月、田沢湖地区で家庭的保育室が開設（県内初）された。現在、2人を保育しているが、新年度も研修等を開催し、新たな家庭的保育室が開設できるよう支援する。

誕生祝支給事業 この内容で本当に良いのか

質問 28年度から新生児に3,000円相当の誕生祝い品を贈るとし、約50万円の予算を計上しているが、果たしてこれで出生率が上がるのか？全くインパクトに欠ける。

答弁 この事業事態は、子供を増やしていこうという趣旨ではなく、仙北市に生まれて来たことに対する、お祝いの気持ちを伝えるためのものである。今後の様々な子育て支援メニューの第1段階として、イントロダクション的な思いでスタートしようとの考えでこの金額と予算とした。

住宅新築助成 市内在住者も対象にするべき

会派代表
質疑

質問 28年度からの住宅新築助成。対象を移住者のみとしているが、市内若者も対象にし、定住促進と経済対策を図るべき。

答弁 人口流出については、18～23歳までの進学、就職によるものの他、その上の、24～39歳までの流出も多い。この世代の流出を抑えられれば、人口減少抑制に一層効果的である。指摘の通り、市内の若い世代に対する支援について全く異論はなく、今回の制度内容を変更し、移住者に限らず、市内在住の若者についても対象としたい。

反対 討論

～このような反対意見がありました～

クニマス未来館建設事業費3億8,578万円は、クニマスのふ化・飼育に十分な技術が確立しない中で時期尚早であり、山梨県が確保している受精卵や稚魚、成魚等も絶滅に追い込む危険性さえある。従って一時、凍結すべきと考え一般会計予算に反対する。

採決の結果「平成28年度一般会計予算」賛成多数で可決

合宿誘致を推進せよ。

仁政クラブ 佐藤 大成 議員



市長 予算を増額し、強化していく。

合宿誘致の考え方は

質問 豊かなスポーツ環境と宿泊体制を持つ仙北市においては、合宿誘致の強化が市経済の活性化に大きく貢献すると考える。昨年度の合宿実績と本年度の目標誘致数を伺う。

答弁 合宿誘致は大きな意義があるという認識を持っている。平成27年度は、高校6校、大学8校で約900人が仙北市を利用していった。目標誘致数を早期に定め、推進していきたいと考えている。

質問 誘致においては、ある競技に特化し、熱心な誘致活動を行い、充実した練習環境を整えている自治体が成功している。現在の仙北市では、モーグルや野球、陸上長距離、カヌーがふさわしいと考えるがどうか。

答弁 誘致に関しては、設備の充実が必要であることは理解している。また、仙北市出身のアスリートの方々の活躍を把握するネットワークも、しっかりと構築する。モーグル・カヌーは、オリンピックの合宿候補地への登録を目指したい。

決算説明資料の充実を

質問 北海道新冠町では、決算説明資料に事業の課題・評価、改善・今後の事業展開が示されている。今後の議論において、PDCAサイクルを軸にした政策評価・検証が行われるが、仙北市で使用されている今の資料では、十分な情報提供はなされていない。決算説明資料の改善並びに充実を求める。

答弁 改善した場合のメリットも大きく、よりスムーズで深い審査が行われると感じている。改善を進めたい。

市内中学校の統合に向けて

質問 生徒数の減少予測も示され、有識者の会議を経て、今後は望ましい統合の在り方が本格的に議論されると思う。統合に向けた議論や調査の具体的なスケジュールは決まっているのか。

答弁(教育長) 本年度中に学校適正配置検討委員会を設立する。また、保護者や市民へのアンケート調査を実施する。

質問 前回の質問で市長は、学校統合は「局地的統合が望ましい」と答弁している。しかしながら、

現在の市内の生徒数を考慮すると、統合によって一時的には生徒数が増え、地域によっては、数年後に統合前の人数に戻ってしまうことが容易に想定される。

文部科学省が、学校統廃合に関する新しい手引を、各教育委員会に通知して1年になる。その結果、全国の学校ではバスで75分以上の通学も珍しくない状況である。改めて提案するが、3～5年計画で段階的に、市内中学校は1つにした方が良いのではないか。

答弁(教育長) 現在の市の対応が手引に逆行しているという批判は否めない。ただ、手引は強制ではない。部活動等の問題はあるが、地域のコミュニティの中核であるということを重視したい。

ドローン競技会をどう産業振興に結びつけるのか。

質問 仙北市でドローン競技会が開催される。市当局は、競技会を絶好のアピールの機会と強く認識し、企業誘致に励まなければならぬ。だが、昨今の企業誘致活動をみると不安を感じずにはいられない。ドローン競技会の概要、企

業誘致活動の具体的な計画を伺う。
答弁 競技会は操縦技術の向上、企業のドローン産業への参入等を目的としている。開催日数は1日で、7月に開催予定となっている。具体的な計画として仙北市は、ドローン産業を振興するという強い意志があることを前面に打ち出し、人材の育成や実証実験への支援を積極的に行う自治体であることとを、アピールすることが、重要であると考えている。将来的には、ドローンバレーを目指す。
(門脇民夫記)



■五輪合宿候補地へ向けた熱心な取り組みを



議員 荒木田 俊一 翠巒会

司食品の誘致は断念か。

市長 市としては、まだ断念とは言えない状況である。

（株）食品工業誘致について

質問 昨年12月に行われた、司食品との会議録に社長の署名はいたっているのか。

答弁 会議内容を、お互い確認する意味合いで署名捺印を申し合わせたものである。2月に郵送しているが、いまだ署名捺印はいただいている。

質問 今回の企業誘致活動は断念したと判断してよいのか。

答弁 正式な答申が無い現状である事から、まだ断念と言えない状況と判断している。

質問 造成した跡地活用策について、秋田銀行が全力を傾注するとの発言であったが、主体者としての発言はなかった。どう捉えているのか。

答弁 私及び市が何もしないと言ったような趣旨の発言では毛頭ない。司食品を紹介いただいた秋田銀行が、全力で事後対応も含めて最大努力を傾注していただけるという話からの発言である。

質問 両者間で本当の信頼関係が構築できていたのか。

答弁 信頼関係がなければ、このような取り組みはなかったと思われる。双方の責任で行った事業であり、企業の一方的な話は理解

できない。

質問 これまで、議会に対し、提案や説明をしてきたのは何であったのか。

答弁 議会と議論を重ね企業誘致を進めてきている。

仮に司食品が進出困難な状況になったとしても、県、秋田銀行、各種関係団体と情報の共有を図り、あらゆる対応に全力で努力する。

質問 議会からの「企業誘致の早期実現を求める決議」を、どう受けとめているのか。

答弁 市の重要な政策課題の解決として早期の誘致実現を求めた決議と想っている。

質問 企業誘致を今後5年間で、5社の目標値としているが、基本的な戦略はあるのか。

答弁 企業立地促進条例に基づく奨励措置制度や各種資源を広くPRし、地方創生特区の特性を最大限活用していく。

教育について

質問 角館小学校の放課後児童クラブを小学校内に設置できないか。

答弁 現時点では、どうしても空き教室がなく困難な状況である

質問 移動に時間と安全面で不安の声がある。スマイルバス等の利

用はできないか。

答弁 検討していきたい。

質問 角館小学校のプールで昨年「匂いがした」との声を聞いたが報告はあったのか。

答弁（教育長） 2回報告を受けている。夏に高温が続いたことにより藻が発生した際、塩素を強めたのが原因と思われる。健康被害の報告は受けてない。

質問 プールの水質検査体制と、ろ過装置等の管理体制は。

答弁（教育長） 検査機関及び学校での検査で数値的な異常は見られない。循環ろ過装置は、毎年3回の点検を市内業者に委託している。今年度、ろ過カートリッジの交換修繕を行いたい。

質問 他の学校のプールで問題はないか。

答弁（教育長） 問題の報告は特にないが、各学校のプールも老朽化しており、今後も改修を進めていきたい。

神代地区の

水道未普及対応策について

質問 水源確保の状況と対応は。

答弁 卒田地区については、黒倉地内に井戸を掘削し、水質、水量とも有望と判断している。

神代小中学校周辺は西木地区簡易水道の拡張、小松地区は角館上水道の拡張により確保できると考えられている。

質問 計画の作成、事業実施の見通しは。

答弁 平成28年度に卒田地区のアンケート調査を実施し、その結果、早ければ工事の実施は平成30年で完成まで5年程度と想っている。

質問 総合計画の位置づけは。

答弁 基本目標に、水道未普及地域の解消事業を掲げている。
（小林幸悦記）



■老朽化が進む小学校プール

どうする医療行政。

民政会議 安藤 武 議員



市長 市全体の医療体制、連携を進める。

質問 市立田沢湖病院経営安定化計画について、医療体制の整備は医療局と一体的に医師確保や他の医療機関との連携等々計画するとしているが、従前とならん新味がないばかりか、これまで経済の変化や制度の改革に沿った経営を展開できず、十分な経営戦略の無いまま事業展開をして来たその延長ではないか。

医療局の宮川信管理者が数年かけて経営の立て直しを図ったはずだが、なんの成果も見られないばかりか悪化の道を辿る一方だ。不良債権額が4億3千万円に膨らみ、やむなく基準外繰り入れ1億円を注入して経営の立て直しを図るとの事だがその本気度が見えないし医療連携も口先ばかりだ。

さらに神代診療所の伊藤所長の辞任に衝撃を受けている。地域医療に率先して臨んだ方で、手厚い患者対応を慕う方が多かった。今、先生に在宅医療を受けていた方々の心配は極度に達している。この医師確保が困難な中（伊藤医師の辞表を受理せざるを得なかった事）決断理由と今後神代診療所をどうするのか伺う。

答弁 医師確保については、地域の皆様の期待に十分に応えきれな



■基準外繰り入れの実施される田沢湖病院

い現状を打開する思いで医療局を中心に粘り強く招聘活動を行って

いるが依然として厳しい。看護師については27年度に3名を採用し28年度は2名の採用が決まっている。

新年度から田沢湖病院を中心に地方創生特区事業に取り組んで行く。秋田市在住の柴田裕医師をお迎えし、通常の診療業務の他、温泉と医療のヘルスケアツーリズムの実現に向けた活動を始める。

空席になっていた病院事業管理者に医療福祉分野に知見の深い、梶健康福祉部長の進藤英樹氏が4月から着任する。市全体の医療体制、連携が進む事を期待している。田沢湖病院の基準外繰り入れは

（資金不足の解消に向けて経営の安定化を図る様）監査委員の指摘の他、国、県からも是正を求められており、極めて重要な対策と考えている。改革推進計画に基づき、前述したヘルスケアツーリズム構築の拠点施設としての他、現在台湾当局と外交ルートで医師招聘作業を進めている。

県が進める地域医療構想と総務省の新公立病院改革ガイドラインに基づき本市でも地域市立病院等改革プランを策定する。一層の経営改革が進むものと考えている。

田沢湖病院の具体的な医療連携は、両市立病院相互の定員受け入れ、退院後の施設入所調整等について角館総合病院を中心に医療介護の連携を図る。

質問（医療連携を中心とした本市の医療問題が）市長の答弁とおりの進めば問題が無いわけだが、その可能性がものすごく低い事からこの問題を提起した。

伊藤先生は自分が辞任する事によって仙北市の医療（特に医療連携に対する考え）が少しでも変わってくればと、非常に寂し気に語っておられた。先生の言われた事の半分でも実現していれば、お

やめにならなかつたと思う。先生の切なる意思をくんでほしい。

答弁 神代診療所の事案については伊藤先生の地域医療にかける、患者第一主義の熱い取り組みは尊敬すべきものだった。この度の退任は誠に残念であり、何度も慰留したがご本人の決心が固く辞表を受理するしかなかった。

診療業務に関しては、これまで通りの診療時間を約束できるか不透明だが医師確保に向けて最大の努力中である。

（阿部則比古記）



■どうなる神代診療所

【用語解説】 基準外繰入金…公益性の観点から、例外的に一般会計から公営企業会計に繰り出す経費のうち、総務省が示した繰り出し基準に合致しない経費。



市民クラブ 八柳良太郎 議員

角館の桜まつりと滞在型、宿泊型の観光事業をどうする。

市長 桜まつり期間外の開催と食のブランド化を進めていく。



■古城山頂から桜木内川桜堤絶景

角館の桜まつりと観光事業支援について

質問 昨年の桜まつりは例年より開花が早く、ゴールデンウィーク前に散り始めた。また、通過型の観光から仙北市ブランド産の飲食を提供させ、外貨獲得に努めるべきでは。

答弁 角館の桜まつり期間を桜の開花に合わせて、アフターイベントの必要性とプレオープン開催の要望が出ており、昨年角館の桜まつり出店組合設立に合わせ、桜まつり期間外の開催を検討したい。「仙北市の食の観光資源として、新たな

に仙北市夢牧場の6次産業化を進め牛肉の「ブランド化」で観光客の方々に提供させたい。

質問 桜木内川堤は文部科学省で名勝指定を受けているが、老木となり、枝も割れ新たな対策が求められる。また、古城山にロープウェイを使い、観光客の方々に山頂から桜木内川堤の桜の絶景を観ていただき、新たな観光スポットにすべきではないか。

答弁 名勝桜木内川堤ソメイヨシノは八十二年目を迎え、落合地区ソメイヨシノも県仙北地域振興局と協議し、次世代の桜植栽も含め

桜の適正管理に努めたい。角館まちづくり運営体から古城山再生の提案があり、山頂までのスロープ化等ハード事業を検討したい。

質問 角館町内小勝田、表町方面で、悪臭の苦情があり、その対策についての考えは。

答弁 同苦情に対し、県畜産試験場から測定していただき、問題なしと報告された。養鶏場の洗卵設備、肥育牛団地の堆肥処理施設の建設に向け、市として支援していきたい。

2月4日には、臨時全体会議で安全対策に対する提案をしてご承認いただいた。二度と同じ過ちを繰り返さないため、関係団体と更に協議を続けたい。

立町ポケットパークの活用は

質問 出店希望者の要望に応え、空き家、空き店舗の活用を図るべきではないか。

答弁 ポケットパーク出店希望者は、立町市有地利協議会に相談を掛けていただきたい。

司食品の誘致は

質問 司食品の誘致が失敗する前に、途中で引き返せなかったのか。

答弁 司食品の企業誘致は、昨年8月4日、滝本社長が県庁を訪れ、話し合いを行った。一日も早く諸問題の解決を図りたい。

病院経営と患者サービスについて

質問 病院の医師と議会との意見を交換する場が必要ではないのか。

答弁 病院の現状を知っていたため、議会と病院スタッフとの意見交換会を今後も開催したい。

質問 角館のお祭りの本質に関わる部分での意識が欠落し、今回の人身事故が起きたのではと、私個人では思っている。お祭り実行委員会会長として、安全対策委員会を立ち上げ、答申をいただいた。2月11日には、研究者による祭りの安全と事故の研修会も開かれた。

(高久昭二記)

はなさき仙北と教育・保育施設の運営にどう取り組むか。



共産党 平岡 裕子 議員

市長 民間からの協力も頂き、日本一子育てに優しいまちづくりを進めていく。

社会福祉法人はなさき仙北と教育・保育施設の運営は

質問 ①平成28年度の園児の全施設の入園状況②受け入れと全施設の状況③はなさき仙北の概要（事務局体制・認定子ども園の運営・予算・職員体制）について伺う。

答弁 ①4月1日時点の入園決定人数は、角館213人、白岩小百合44人、角館西44人、中川21人、にこにこ88人、松木内47人、だしのこ園131人、神代子ども園136人で、全市で724人の状況である。

②昨年度と比較すると1歳・4歳児が増加、2歳・3歳・5歳児が減少、市全体で27人減少している。ゼロ歳児は角館保育園で5人が入所待機となっている。

③事務局は5人体制（2人は市の派遣職員）、だしのこ園は園長以下39人、神代子ども園は37人体制となっている。市の臨時職員から法人の正職員になった方は、2園あわせて10人である。予算は、市からの委託事業収入・補助金・施設費を合わせて1,375万6千円となる。施設の移譲は、土地は

無償貸付け、建物及び備品は無償譲渡とし、4月1日が移譲日となる。

質問 市の職員の保育園の異動等も考えているのか。

答弁（副市長） 平成28年度は2つの認定子ども園に14人の市の保育士を派遣するという事で協議している。これは当面、保育の質を低下させない事と保育のスキルを維持していく事で、2・3年のスパンで両園に派遣する事としている。その後は、全て法人の保育士で運営していく体制を整備していきたいと考えている。今回派遣を予定しているのは、現在、神代子ども園・だしのこ園の保育士からということである。

保育料の助成は検討されたか

質問 市では、一定の所得に応じた、第2子から保育料を無料化する

としたが、第1子の子育て支援が充実して、第2子の誕生につながると思うが検討されたのか。

答弁 本市の保育料は、他自治体や国の基準と比較して約半額であり、この差額分は市が負担してい

る。十分検討し、第2子を生育しやすいように、既に出生している第2子からの無料化に踏み切ったということである。

ロタウイルスの予防接種化を

質問 インフルエンザの予防接種助成を高校生まで広げる考えはあるか。乳児期にかかりやすいロタウイルスの予防接種化の検討をどうするか。

答弁 インフルエンザの予防接種の一部助成は6歳児の就学前としている。流行や症状、年齢等も考慮し、更に検討事案とする。国では、ロタ定期予防接種化については有効性・安全性の評価の検討が必要との見解である。今後の導入については、国の指針等を注視して検討を進めて行きたい。

補正具補助等の検討は

質問 2人に1人は、がんにかかるといわれている。抗がん剤や放射線治療を受ける女性の立場に立つて、ウィッグや補正具の補助等、女性の生活応援・支援をするべきではないか。

答弁 これまで市の検討にはなかった提案である。県内では能代市が既に実施している。医師の証明書と補正具の請求書を添付して、乳房は上限額2万円、ウィッグは3万円としている。山形県では既に実施している。大変ありがたい提案だと受け止め、実施に向けた検討をさせていただきたい。

（熊谷一夫記）



■社会福祉法人「はなさき仙北」が運営する神代こども園



民政会議 伊藤 邦彦 議員

クリオンプールの新築を。

市長 既存のプールを改修した方が維持費が安い。

クリオンプールの新築を

質問 クリオンのプールは合併協議会で、旧西木村が準備した敷地に建設することになっていたのではないかと。

答弁 現在、プールの新築には約5億円、維持管理には年間4,500万円の経費が必要と試算されている、改修した場合の維持管理費には1,500万円程度と推計している。プールは改修後約20年間は大丈夫だと想定されるので、この間に財政事情等も考慮して、新プールの議論がされるものと考

質問 プールの改修方法・改修箇所及び予算について伺う。

答弁 予算は現プールの改修と設計料を含め5,800万円程、ボイラーの設置に3,900万円合わせて9,700万円程である。

質問 クリオン本体そのものが建築後30年近く経過している。耐力、耐震調査等を実施したのか。

答弁 耐力等の調査は平成27年度に実施したが、調査結果報告書が、まだ提出されていない。

質問 改修後の用途が子供達の水泳だけでなく、高齢者の方々の膝痛、腰痛等の予防や緩和のためにも活用されると思われるが、3階への階段の昇降は厳しいので、エレベーター等は設置するのか。

答弁 高齢者の方々の活用も考慮された改修であるが、平成28年度の改修予算には含まれていない。

耐力等の調査結果に基づきクリオンの改修計画が予定されている。その際に議論することを考えている。

質問 プールサイド等の冬期間の暖房は大丈夫なのか。

答弁 ボイラーの改修費が高額なのは、冬期間を含めて通年使用できるように暖房等にも配慮された改修となるためである。

市内公共遊休施設の活用は

質問 介護施設、老健施設等の各施設には、入所希望待機者が100人以上いると聞いている。市内には学校を含め公共の遊休施設が多くある。これを老人介護施設等に活用することにより、働く職員の雇用も生まれるのではないかと。

答弁 旧学校を介護施設にと企業や県関係者が視察したことがある。建物の構造上福祉施設として活用することが、基準になじまないとして活用出来なかつた経緯がある。しかし、法律を満たしている部分とそうでない部分があり、地域の方々が使い勝手のよい小規模多機能な地域拠点として、学校施設だけでなく市内遊休施設について考えていく。

熱源を供給するバイオマス施設の事業化はできないか

質問 仙北市の面積の約80%が森林である。間伐、除伐した木が山に放置されているので、これを集めバイオマス発電施設の燃料として活用することにより、隣接する施設に電気と熱源が送られるとした事業は、火災により中止となったが、それまで習得した知識や人脈を活用してチップを熱源とする施設として再度事業化できないか。

答弁 熱源を供給する温水ボイラーの燃料としてチップを活用するバイオマス施設は全国各地で稼働しているが、チップの原料である間伐、除伐された木材を集めることができないかを鍵を握っている。木材を集め搬出する作業道や林道が整備されている状況があれば、コスト面において有利であると思慮されるが、仙北市の状況においては厳しい。また、自治体はその事業に取り組むには、原材料の調達の仕事が重要であることを、バイオマス発電施設の体験から得られた知見である。

市民歌の普及を図れ

質問 仙北市民歌は歌詞、メロディともすばらしく、これを各会合

等で歌うことにより市民に一体感が醸成されるのではないかと。また、県庁を始め県内各市町村も電話待ちの間に県民歌や市町村歌が流れる所もあり、PRにも貢献している。市の防災無線での時報、あるいは電話の待ち受け等の際流れるメロディを市民歌に変える等して市民歌の普及を図るべきでないかと。

答弁 各学校にパネルの展示やCDの配布はしているが、人には音楽の好き嫌いがあるので強制はできないとの思いである。ただ、知ってもらって歌ってもらえる機会をたくさん作りたいと思っている。

(佐藤大成記)



■改修されるクリオンプール

公共施設等総合管理計画の策定にあたっては明確なビジョンが必要ではないのか。



議員 小林幸悦 翠鸞会

市長

地域の声を反映させて、それぞれの公共施設の方向性を定めていきたい。

公共施設について

質問 平成28年度において公共施設等総合管理計画を策定するとしているが、現在の公共施設をどうするのかという明確なビジョンが必要である。維持管理コストや安全性、類似施設や使用頻度等を考慮しての統廃合など、今後の方針について問う。特に老朽化の著しい「市営住宅」「角館東公民館」「角館総合技能センター」をどうするのか。

答弁 計画策定にあたっては、施設の利用者や地域の声を計画に反映させたいと考えている。現在、固定資産台帳整備の作業を進めているが、維持管理、修繕、更新等にかかる中長期的な経費の見込みを算出することや、公共施設等の総合的かつ計画的な管理に関する基本的な方針等を、充実、精緻化することに活用したいと考えている。重要度や緊急度等を考慮の上、公共施設の統廃合、除却等を計画的に進めると同時に、遊休財産の売却の推進、有効な活用方法等検討したいと考えている。

市営住宅は、現在268戸で、このうち玉川住宅、田中住宅、武蔵野団地の木造平屋建て、岩瀬住宅は耐用年限が経過したものや老朽化が顕著な住宅が目立っている現状の中、入居者が退去した住宅は次の募集は行わず、順次解体を

行っている。入居中の住宅については、随時補修等を行っている状況である。角館東公民館は、代替施設がない現状では今後も維持したいと考えている。技能センターは、早期に解体したいと考えている。

クニマス未来館について

質問 将来のクニマス孵化、養殖に向けた具体的な計画は。

答弁 基本的な調査、検討、課題の抽出から施設整備の具体的な構想策定、建設着手まで、市としての方針を明確に掲げ、国・県・研究機関等の指導協力を仰ぎながらインテグラルをおくことなく、進めたいと考えている。

質問 田沢湖再生への具体的な取り組みは。

答弁 湖底調査を平成28年度も行う予定である。基本調査は、平成28年度より順次実施の予定である。環境の修復や再生に向けて何が必要なのかを議論し、人的体制、組織体制の強化で国・県・研究機関等と連携をした基礎調査や研究活動をパワーアップしたいと考えている。

耕作放棄地について

質問 耕作放棄状態の農用地の現状は。

答弁 耕作放棄地は32・11haで、市全体の農地面積に対して約0・55%である。再生可能な農地面積

は31・42ha、耕作放棄地の97・9%を占めている状況である。農業委員会での農地パトロールの結果をもとに、所有者等の意向の確認を行っている。確認した意向を踏まえ、再生可能な農地については、農地法による賃貸契約や所有者移転による売買などの斡旋を行い、農地の利用調整と有効利用を進めている。

質問 耕作放棄地解消のための農地中間管理機構の活用は。

答弁 農用地の有効活用を図るために創設された農地中間管理機構ではあるが、耕作放棄地については借り受けは行わない状況にあることについては問題があるという思いである。国等の制度を活用して農地としての再生をした上で機構に貸し付け登録することが農地の高度利用促進につながるものと考えている。

地方創生総合戦略と地域運営体のかかりについて

質問 総合戦略の実践にあたり、民間や地域運営体はどのように位置付けられるのか。

答弁 実践にあたっては、さまざまな機会を捉え市民の皆様を理解していただくことが重要と考えている。新たな地域社会の形成という観点からは、重要な主体となるのが市民であり地域運営体である

と考えている。市が抱えている課題解決のため、協働して汗を流していただきたいと考えている。

今後の財政計画と事業選択について

質問 職員減少に反比例する事務事業量の増加の対応は。

答弁 アウトソーシング、事務事業の移転でスリム化をしなければならぬというのと同時に、いかに人材を確保するかということ課題に悩んでいる現状ではあるが、それぞれのスキルアップを図りながらチームとしての機能向上、醸成を進めていきたいと考えている。

(真崎寿浩記)



■老朽化が著しい技能センター

市職員の社会人採用枠を設けよ。

仁政クラブ 稲田 修 議員



市長 即戦力としての採用を検討したい。

少子化、高齢化対策について

質問 人口減少が著しい中、生産人口の確保が最重要課題である。本市を離れ仕事をしている若者達に、1人でも多く帰ってきてもらい、これまで培ってきた経験や知識を活かして活躍してもらいたい。そのためにも、市は、職員採用に社会人枠を設けて、本市出身のこうした若い方々を対象とし、採用して行くという考え方はないのか。

答弁 社会人採用枠も以前はあった。市では外国人誘客に力を入れていることから語学が堪能な人などや、測量図面を書ける技術を持つ人を想定した上で、経験や知識のある人を即戦力として市民の方々に提供できるという事で来年の採用には是非検討をしたい。

また、移住や定住の観点からも市外在住者や子育てをしている世帯の人などや、インバウンド対策として職員の採用も話は、頂いており実は総務人事担当部の方では色々検討している。

質問 高齢化対策は第6期福祉計画どおりなのか。

答弁 笑顔、安心、支え合いという計画が6期計画である。その優先度、優先順位をどこにもつか、の考え方によって優劣、順位が変

わると思う。モデル的な取り組みを、することが重要だと思う。

それを全市に広げて、成功事例に取りかかる事になれば、良いと思う。是非28年度で検討したい。

質問 職員の再任。過去3年間の再任用の数は。

答弁 基本的に再任用は民間は既に退職年数を延ばしている。

国の方針では、公務員の退職年限を、平成37年までに民間と同レベルにするとしている。全国1814の自治体がまだ退職年齢が60歳になっている。年金を満額受給

できる65歳まで、民間と同じく肩を並べるための再任用制度である。

再任用人数は平成25年は1人、26年は8人、27年は8人、28年は12人である。

質問 再任用のメリット、デメリットはどうか。

答弁 メリットとしては、専門的な知識の継続性が図られる事があり、知識や経験を後輩にきちんと伝えていって、組織の活力を維持することが出来る。

デメリットでは、心配している部分は幾つかある。その再任用し

た職員が、今まで以上に職場に愛着をもって市民の方々に接して頂くというモチベーションを維持することが出来るかどうか、という心配はある。また、組織図の中には市職員の再任用の名前も入っており、部長級で退職された方は主査クラスでの再任用という状況である。

(黒沢龍己記)



■笑顔、安心、支え合いの社会を

総務文教常任委員会

平成28年度一般会計予算 総務費 27億3,320万円 (クニマス未来館建設に3億8,500万円)

平成28年度一般会計予算の内、総務委員会では、議会費、総務費、消防費、教育費、公債費などの主要予算が審査されました。クニマス未来館建設や、ふるさと納税による寄付金増加に伴う返礼品や積立などにより、総務費は前年対比32.9%と大幅にアップしています。

■平成28年度一般会計予算(総務文教常任委員会で審査されたもの)

項目	28年度予算額	27年度予算額	比較	伸び率	備考
議会費	1億6,734万円	1億9,147万円	△2,413万円	△12.6%	議会運営に関する予算
総務費	27億3,320万円	20億5,691万円	6億7,629万円	32.9%	行政運営全般や企画政策等
消防費	8億4,192万円	7億5,362万円	8,830万円	11.7%	大曲仙北広域消防や消防団に関わる予算
教育費	14億1,120万円	17億3,916万円	△3億2,796万円	△18.9%	小中学校や幼稚園、公民館、文化財保護等の予算
公債費	23億2,781万円	25億4,809万円	△2億2,027万円	△8.6%	借金の返済

■平成28年度予算 主な内容

あきた未来づくり協働プログラム事業費 3億8,579万円

クニマス未来館の建設や田沢湖の湖底調査を行う。

総合行政情報システム管理費 1億4,229万円

市役所システムやセキュリティシステムの管理運営費。

次世代定住支援事業費補助金 300万円

若者の住宅建築に対する助成制度を28年度から実施。

ふるさと振興基金積立金 1億3,283万円

ふるさと融資に充てるための基金へ積立。

ふるさと仙北応援基金積立金 1億1万円

ふるさと納税による寄付金を基金へ積立。

大曲仙北広域市町村圏組合消防費負担金 6億832万円

大曲仙北広域消防の運営費を一部負担。

達成は厳しいと考えている。

減対策に取り組みなければその

全市が一つとなって定住・人口

様からも情報を提供して頂き、

かなければならない。市民の皆

とりまとめ、市として進めて行

課からのあらゆる情報と施策を

答弁 定住対策については、各

横断的に進めるべきではない

か？

質問 次世代定住支援事業によ

る人口減少対策は、若者の定住

を図るための政策であり、各課

受け止めている。

も同様の意見を頂いており重く

答弁 田沢湖再生議員連盟から

か？

質問 クニマスが減んだのは国

家事業によるものである。国や

県の支援も求めるべきではない

質問 クニマス未来館運営の収

支見直しは？

答弁 クニマス未来館の運営に

ついては、入場者数の増加策や

支援企業の確保、ふるさと納税

の活用等により赤字幅を縮小し

黒字化に向けて努力を重ね、軌

道に乗れば原則的に地域の方々

に指定管理をお願いすることに

なる。

質問 クニマスが減んだのは国

家事業によるものである。国や

県の支援も求めるべきではない

ここが知りたい
議論のポイント
平成28年度予算 主な質疑

■平成27年度一般会計補正予算 主な内容

地域総合整備資金貸付金 1億4,500万円

角館町横町に計画されている町家プロジェクトに対する「ふるさと融資」。

小中学校施設天井落下防止対策事業費 3,444万円

市内小中学校体育館の天井補強工事。

質問 小中学校施設天井等落下防止対策工事中、子供達の授業に支障はなかったか。また、子供達の安全は確保されていたか。

答弁 各学校により多少の違いはあるが、工事は2～3ヶ月の期間を要した。工事期間中の体育授業は、学校の配慮により屋外で行う授業にカリキュラムを組み替えてもらった。現場には警備員を配置し子供達への安全に配慮した。

条例案等の審査

新市建設計画の変更について

質問 新市建設計画変更と合併特例債との関係については？

答弁 庁舎建設だけでなく、広域関係の事業にも特例債を充てられることから、特例債を借りる選択肢を広げるため、広域関係事業にも変更を加えたものである。特例債の返済についての財政シミュレーションは、建設計画に掲げる事業について計算されている。

仙北市基金条例の一部を改正する条例の制定について (育英会奨学金を寄附により増額するための条例改正)

質問 仙北市育英会の奨学金返済免除制度が新しくできるのか。

答弁 育英奨学金の制度の変更について、平成28年度中に条例改正を考えている。内容は、返済期限に達した方が、仙北市に在住している期間は、返済額相当の金額を補助するというもので、就職して、仙北市に戻ってきた時点で全額免除になるものではない。

平成28年度一般会計予算

民生費・衛生費 72億5,214万円 清掃費は前年度比29%ダウン

平成28年度の一般会計予算の内、民生費、衛生費が審査されました。昨年の市職員による不祥事に関連し、事業精査のため清掃費は前年対比マイナス2億4,669万円(-29%)と大幅に減額した予算となっています。また、生活保護費については、全国的にも受給者が増加しておりますが、本市でも医療扶助の伸び等により、前年比10.9%の増額予算としています。

■平成28年度一般会計予算(市民福祉常任委員会で審査されたもの)

項目	28年度予算額	27年度予算額	比較	伸び率	備考	
民生費	社会福祉費	29億5,380万円	28億2,338万円	1億3,042万円	4.6%	障害者や高齢者の福祉に関する予算
	児童福祉費	15億6,540万円	15億6,291万円	249万円	0.2%	認可保育園の運営など児童福祉の予算
	生活保護費	7億443万円	6億3,524万円	6,917万円	10.9%	生活保護にかかる予算
	国民年金費	699万円	688万円	11万円	1.7%	国民年金事務に関連する予算
	災害救助費	85万円	157万円	△72万円	△45.9%	災害救援に関する予算
計	52億3,148万円	50億2,998万円	2億149万円	4.0%		
衛生費	保険衛生費	6億5,507万円	6億5,058万円	449万円	0.7%	病気予防や医師確保、歯科診療所、浄化槽整備など
	水道費	2億3,931万円	1億5,360万円	8,571万円	55.8%	簡易水道、小規模水道等の運営に関する予算
	病院費	7億2,211万円	6億4,664万円	7,547万円	11.7%	病院事業に対する補助などの予算
	清掃費	6億418万円	8億5,087万円	△2億4,669万円	△29.0%	ゴミ処理、し尿処理施設などの運営費
	計	22億2,066万円	23億169万円	△8,103万円	△3.5%	

■平成28年度予算 主な内容

温泉休養施設管理運営費	9,701万円	西木温泉クリオンの温水プールとボイラーの改修工事。
高齢者世帯等除雪支援事業費	1,266万円	自力で除雪することが困難な高齢者世帯等に除排雪や雪降り費用の一部を助成。
福祉医療費	2億2,355万円	乳幼児、小中学生、高齢者等への医療費助成。児童について8月からは中学校卒業までに拡大。
放課後児童対策事業費	4,551万円	放課後児童クラブ運営の経費。28年度から利用料は半額に。
誕生祝支給事業費	51万円	新生児の誕生を祝うため記念品を贈呈。
塵芥処理費	1億7,516万円	家庭ごみの収集運搬と市内3カ所の最終処分場の管理運営費など。
ごみ処理場管理運営費	2億9,132万円	ごみ処理施設の管理運営や維持補修の費用。

質問 (衛生費) 衛生費のなかで、ごみ処理費は前年と比較して大幅減額となっているが、どういった理由によるのか？

答弁 大規模な改良工事が終了したこともあるが、その他本来かかる修繕費等については、現在メーカーも含め精査中である。二重三重にチェックし6月補正で対応したい。

質問 (衛生費) 衛生費のなかで、ごみ処理費は前年と比較して大幅減額となっているが、どういった理由によるのか？

答弁 指摘の通りであり、3千円相当の品から3万円の現金支給に変更する。予算については6月補正で対応する。

質問 (衛生費) 衛生費のなかで、ごみ処理費は前年と比較して大幅減額となっているが、どういった理由によるのか？

答弁 今後クリオン本体についても改修の必要があり、その際にエレベーターの設置や更衣室健康器具ルーム等も検討する。

質問 (衛生費) 衛生費のなかで、ごみ処理費は前年と比較して大幅減額となっているが、どういった理由によるのか？

答弁 誕生祝支給事業として、28年度から新生児に誕生祝い品3千円相当を贈るとしているが、子育て日本一を目指すのであれば非常にインパクトが薄いのではないかと？

質問 (衛生費) 衛生費のなかで、ごみ処理費は前年と比較して大幅減額となっているが、どういった理由によるのか？

答弁 クリオンのプール改修を行う予定としているが、プール以外に本体も経年劣化しており改修が必要ではないのか。また、プールは3階にあるので高齢者に配慮しエレベーターの設置は検討できないのか？

平成28年度予算 主な質疑
**ここが知りたい
 議論のポイント**

平成28年度 仙北市病院事業会計当初予算68億411万円 (新病院建設と医療機器に約25億3,800万円)

市立角館総合病院は新病院建設が進んでおりますが、平成28年度の予算の内、病院建設と医療機器購入に約25億3,800万円の予算が計上されました。委員からは病院の運営に対し多くの意見が出されました。(委員会討論から一部掲載)

- 市立角館総合病院は来春オープンを控えているが、院長始め各医療スタッフが一丸となり、患者への接遇改善、サービス向上を図るべき。2次医療機関としての役割をしっかりと果たすべく病診連携に努めて頂きたい。
- 市立田沢湖病院について、温泉療法医師の着任と看護師の充足を図りながら、今後は角館病院との連携をさらに強めて、一層の経営改善を求める。

産業建設常任委員会

平成28年度一般会計予算 農林水産業費16億9,100万円 前年度比50.5%アップ

平成28年度の一般会計予算の内、労働費、農林水産業費、商工費、土木費などの主要予算が審査されました。内、労働費は前年対比-40.8%、農林水産業費は50.5%と予算の増減率が高くなっています。

■平成28年度一般会計予算(産業建設常任委員会で審査されたもの)

項目	28年度予算額	27年度予算額	比較	伸び率	備考
労働費	6,868万円	1億1,608万円	△4,741万円	△40.8%	緊急雇用対策事業など
農林水産業費	16億9,150万円	11億2,374万円	5億6,777万円	50.5%	農業・畜産・林業・漁業関係の予算
商工費	7億998万円	7億3,317万円	△2,319万円	△3.2%	商工業活性化や観光に関する予算
土木費	15億6,623万円	17億9,109万円	△2億2,486万円	△12.6%	道路や橋梁の整備・維持などに関する予算

■平成28年度予算 主な内容

農業夢プラン型戦略作物等 生産基盤拡大事業費

3,487万円

認定農業者の経営多角化への支援。

総合産業研究所費

556万円

農産物や特産品のPR、6次産業化や食育などの推進事業。

畜産環境総合整備事業費

9,023万円

国の畜産環境総合整備事業により堆肥処理施設を建設。

中小企業活性化支援事業費補助金

1,000万円

市内中小企業の起業、新分野進出、事業拡張に係る施設整備や機械購入に助成。

観光宣伝費

1,086万円

観光客数増加のため、関係機関と連携しての観光PRなど。

岩瀬北野線整備事業費

2億5,960万円

都市計画道路岩瀬北野線の小館(内川橋)～大風呂(横町橋)区間の整備。

住宅リフォーム促進事業費

1,500万円

住宅の増改築、リフォームに対する助成。

行く。
見込んでいく。25トンの大型車が通
行できる設計として、調査を進めて
行く。

【土木費】

質問 内川橋掛け替えの概要は？

答弁 総事業費は概算で20億程度を

見込んでいく。25トンの大型車が通

行ける設計として、調査を進めて

行く。

【園丁費】

質問 外国人観光客増加に向けた対

策の状況は？

答弁 現在既に通訳コールセンター

事業に着手しており、各宿泊施設か

らも好評である。また、外国人向け

体験メニューも作成し今後実施する。

さらに、旅行代理店等と連携したセ

ールズプログラムも実施している。

質問 外国人観光客増加に向けた対

策の状況は？

答弁 現在既に通訳コールセンター

事業に着手しており、各宿泊施設か

らも好評である。また、外国人向け

体験メニューも作成し今後実施する。

さらに、旅行代理店等と連携したセ

ここが知りたい
議論のポイント
平成28年度予算主な質疑

司食品工業(株)誘致 企業側から進出断念の意向示される

市がこれまで準備を進めてきた食品加工工場の誘致について、企業側が進出を断念する意向を示した旨の報告を受け、委員会では、大変重い事態と受け止め、市長に対し説明を求めました。委員からは、こうした事態になったことに対する責任を取るべき、また、市民に対してきちりと説明するべき、などの意見が相次ぎました。ここでは市長からの発言の一部を掲載致します。

市長 昨年12月に司食品工業(株)の滝本社長から、現状では進出が困難である旨が伝えられた。私どもは進出が困難なのであればその理由も含めて文書で提出して欲しいと伝えた。しかし先方では、できない、とのことであったため、会議録をその代用とすることで協議し、完成したものを社長に対し送付している。先方からは、会議録の内容と自身の考えの食い違いがある旨指摘された。重要事案のため、職員を直接東京本社まで向かわせ内容を精査する作業をした。その際、先方からは一転して、理由書を書いて良いとの発言もあり、現在は、当初から仲介して頂いている秋田銀行、県とも相談しながら調整に入っている。これまで、司食品工業の進出を願ってきたが、先方から一方的に進出を断念されたことについては大変遺憾である。こちらは準備が全て完了しているにも関わらず、その後会社側が行動に移さなかったことは、先方の約束違反であると考えている。今後は、弁護士と相談の上、市にとって不利益とならないよう努めたい。約束違反であるため、先方企業には、応分の責任を果たしてもらいたい。先方が取るべき責任の果たし方については、現在、弁護士と協議中である。

～議会「随意契約不正事務処理に関する調査特別委員会」最終報告～

仙北市職員倫理条例を提出

これまで、市役所職員による不祥事について地方自治法第98条第1項に基づく検査を行ってきた、「随意契約不正事務処理に関する調査特別委員会」が、定例会初日、本会議に対し最終報告を行いました。報告書には①概要と経過、②明らかになった事実関係、③検査結果の問題点、④検査事項に対する指摘・改善意見など詳細で非常に厳しい内容が明記されています。加えて特別委員会は、「コンプライアンスの根幹となる仙北市職員倫理条例を提案する」として、議会はこれを全会一致で可決しました。

<仙北市職員倫理条例> ～抜粋～

第1条 (目的)

この条例は、職員が全体の奉仕者であってその職務は市民から付託された公務であることに鑑み、職員の倫理の保持に資するため必要な措置を講じることにより職務の執行の公正さに対する市民の疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、もって公務に対する市民の信頼を確保する事を目的とする。

第3条 (職員が遵守すべき倫理原則)

- 1 職員は、市民の一部に対してのみ有利な取扱いをする等市民に対し不当な差別的取扱いをしてはならず、常に公正な職務の執行に当たらなければならない。
- 2 職員は、常に公私の別を明らかにし、いやしくもその職務や地位を自らや自らの属する組織のための私的利益のために用いてはならない。

第4条 (職員の倫理の保持に関する状況等の公表)

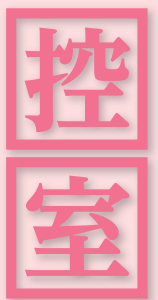
市長は、毎年、職員の倫理の保持に関して講じた施策について公表しなければならない。

～地方創生特別委員会最終報告～

地方創生特別委員会では、12月の中間報告以降、仙北市総合戦略成案と第2次仙北市総合計画（案）との整合性について意見を集約し、最終報告とした。

- 1、基幹となる総合計画の中の地方創生に係る総合戦略である。総合戦略については、仙北市が生き残る為に総合計画との整合性を維持し、確実に実行すべきものである。
- 2、総合戦略及び総合計画は共に市民のものである。事業を実行するにあたっては、対象は誰かという視点を明確にし、常に現場の状況を把握し進めるべきである。
- 3、本特別委員会の提言は、現場との議論の基にまとめたものであり、総合戦略に反映された事項はしっかりと実行すると共に、本特別委員会で提言されたものの具体的に示されなかった事項についても、今後の施策に反映されるよう、十分に検討をしていただきたい。

地方創生はスタートしたばかりである。全国の自治体が生き残りを掛けて必死になっている。総合戦略は市政全般にわたるもので、各常任委員会です管事項のP D C Aサイクルを常に検証し、市民をエスコートしながら仙北市が一体となって仙北市創生に邁進するよう、皆様への協力をお願いし最終報告とする。



能弁市長と職員の自発度

近隣某町の役場職員と本市の職員の自発性の違いが議員の間でしばしば話題になる。確たる論拠があるわけではないが、様々な方々が異口同音に指摘するからには、おそらくそうした傾向にあるのだろう。色々な原因があるのかもしれないが、その一つに市長の多弁が本市職員の自発性を阻害しているとの意見が多い。なるほど委員会や座談会でも終始、殆ど一人で答弁するケースや、職員の答弁に少しも不安があると、間髪を入れず代弁する場面があまりにも多い。確かにその能弁ぶりには天与のものがあるし、多弁の割には失言も少ない。しかし職員はどう思っているのだろうか。我々議会としてもそれぞれの職員に対して、事あるごとに機会をとらえ、職務についての、おのおのの思いや、その考えを質することによって、一層の自覚を促し、発言に責任をおわせ、行政を間違いないスムーズに執行させつつ、さらには職員を切磋琢磨してゆく責務がある。昔から「武士に二言なし」などと言う。言葉は言葉と云われ、特に議会における発言はそれ程「重い物」なはずだ。例え、つたなくとも重要な場面でもこそ、担当職員に責任ある答弁をさせるべきだろう。私たちは、職場や教育現場は勿論、家庭においても、徹底して建設的な自発性を促し、育成し、大切にしていかなければ、効率が悪く、快活でしかも善意と愛に富んだ職場環境や教育現場、家庭をなかなか築けないのではないだろうか。「巧言令色」にならないために。

(阿部則比古記)

編集後記

議会の活動を市民の皆さんに、いかにわかりやすく伝えることが出来るかを念頭に、広報編集委員として「市議会だより」を掲げてまいりました。

この2年間、多くの事件・事故もあり、初めて臨時号も発行させていただきました。市民の皆さんの写真や取材でのご協力に委員一同深く感謝申し上げます。委員構成は変わりますが、今後とも「市議会だより」をよろしくお願いたします。

(熊谷一夫記)